

(案)

令和 4 年 2 月 日

愛西市長 日 永 貴 章 様

愛西市行政改革推進委員会  
会 長 岩 崎 恭 典

## 行政改革について（答申）

平成 30 年 1 月 2 日付けで当委員会に諮問がありました「第 2 次愛西市行政改革大綱（以下「第 2 次行革大綱」という。）の進捗管理に関すること。」及び「第 3 次愛西市行政改革大綱（以下「第 3 次行革大綱」という。）の策定に関すること。」につきまして、下記のとおり答申いたします。

## 記

当委員会では、平成 30 年 1 月 2 日付けの諮問を受け、常に市民の目線を大切に、市民の真摯な声を行政に届けることを心掛け、答申までに 7 回の委員会を開催し、審議を重ねてまいりました。

「第 2 次行革大綱の進捗管理に関すること。」につきましては、第 2 次行革大綱における、主要取組事項 10 本の柱に基づき、市では様々な具体的な取組を進め、効果的・効率的な行財政運営に努めてこられたことを認め、当委員会においても、第 2 次行革大綱に係る進捗管理指標や具体的な取組事項について、関係部署にヒアリングを実施し、活発な意見交換、協議により進捗状況の確認に取り組んでまいりました。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業もあった中で、それぞれの事業において一定の成果が上がっていることと答申いたします。

しかしながら今後の市の財政状況は、少子高齢化、人口減少が進行し、高齢化の進展に伴う社会福祉費や公共施設の老朽化の進行による改修費などに係る支出の増加が見込まれ、ますます厳しさを増すことが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症による「新しい生活様式」への移行の中で、行政運営にあたっては働き方や業務執行の在り方などの見直し、AI・RPA 等の新たな ICT 技術の一層の活用など、多様化する市民ニーズや時代の変化に柔軟に対応することが求められます。

こうした状況の中で、第 2 次愛西市総合計画に掲げる将来都市像である『ひと・自然 愛があふれるまち』、持続可能な財政運営を実現するため、さらなる行政改革の推進が必要です。

そのため、「第 3 次行革大綱の策定に関すること。」においては、上記のような市を取り巻く環境を踏まえ、その方向性や内容について、十分に評価できるものであると考え、別添の第 3 次愛西市行政改革大綱(案)のとおり認めることと答申いたします。

市におかれましては、当委員会の意見やパブリックコメントにて集めた市民意見を踏まえて策定した第 3 次行革大綱や審議過程における意見及び要望等について、その趣旨をできる限り尊重されるよう要望します。

また、第 3 次行革大綱を全職員が一丸となり積極的に取り組むことを切に要望します。